

第24回 みんなで語ろう！ ～いなむら市長とともに 車座集会～

<テーマ型 : 自転車を 都市課題から 都市魅力へ>

と き	平成28年5月18日(水) 午前10時30分から正午まで
と ころ	女性センター・トレピエ 2階学習室 (南武庫之荘3-36-1)
参加者等	参加者 14人、市長ほか関係者 15人 計29人

1 車座集会の概要及び本日の進行スケジュールについて説明(職員)

2 市長から配布資料等に基づき説明

(1) 平成28年度 施政方針について

裏面「3 安心・安全のまちづくり」として、重点課題の一つに取り上げている。

今回のテーマにもなっている自転車に関係する項目、①自転車総合政策推進事業 ②街頭犯罪防止事業 ③交通安全推進事業 を掲載している。ハード面もソフト面も取り組んでいくが、市役所の異なる分野の課(道路・安全など6課)チーム一丸となって総合的に自転車を位置づけて取り組んでいる。

表面には、今年が尼崎市は市制100周年の年であることを記載しており、いろいろな意味で新たなスタートを切る大事な1年であるし、尼崎市のイメージを良くしていくチャンスだと思っています。皆さんと一緒に盛り上げていきたい。

(2) 「ひと咲き まち咲き あまがさき」に向けた人口ビジョン・尼崎版総合戦略について

人口は全国的に減少局面に入っており、本市の具体的な取組み、戦略について記載したものです。

(3) 本日のテーマ、「自転車を 都市課題から 都市魅力へ」を資料に基づいて

本市は、坂道が少なく、非常にコンパクトで自転車に向いている。反面、放置自転車、自転車の盗難、さらに自転車事故など課題が多い。そこで、平成27年度に、縦割り行政ではなく、関連部署がチームになった「自転車総合政策推進プロジェクトチーム」を設置し、総合的に取り組んでいる。

また、今までの取組みにより放置自転車が62%の減少、盗難は17%減少、交通事故は14%減とかなり改善している。これらの内容について、パワーポイントにより説明した。

3 市民と市長との対話

<全文ではなく、概要版として掲載しています。>

市民	4月に障害者差別解消法が施行され、安全配慮をする必要があることで全面的に言いたい。不法駐輪が邪魔。サインキューブとか障害物を置いて不法駐輪を防がないと処理できないというが、その障害物に杖が当たり怪我をすることもある。駅前やマクドナルドの前、阪急電車などの企業は、他人の土地(市の道路等)を使って自分たちは何もしない。歩道のプランターや花もきれいだが障害者にとっては怖いものである。歩道に黄色い斜め線を描くなどしてもらえないか。
市民	武庫之荘駅北側は、武庫之荘1丁目のまちづくり協議会が平成18年度に不法駐輪対策の運動を行った。プランターに苗を植えて花を咲かせることで街をきれいにと、地域の女性達が植えたものである。障害者のためにというのわかるが不法駐輪をなくすことを目的に取り組んだものである。

市長	2人の意見はごもっとも。今は花を置くことで放置自転車が減り、不法駐輪が減少している。段階を踏んで理想（サインキューブも何も置かない状況）に近づけようとしている最中なので長い目でみてほしい。駐輪禁止のカラーリング（駐輪禁止のマーク）については、今後検討していく。
市民	業者が店を建てる時、駐輪場のスペースを確保しないとだめなのに、他人の土地を使って商売をするのはずるい。阪急電車や店舗がもっと力を入れないとだめ。
市長	市としてもできれば、全てを市税で賄うのではなく事業者にも協力を求めている。
市民	ごみ収集車の放送テープで、駐輪の定義とかモラル、放置自転車のことを流してもらえないか？
市長	ひったくりのパトロールについては専用の車で回っており、注意喚起のアナウンスを流している。ごみ収集車は音楽を流しており、あの音楽が鳴ったらゴミを出しに行くという方もおられるので難しい。ただ、パッカー車に企業の宣伝広告を掲載しているものはあるので、その利用も含めて、他の車を活用するなどアイデアを出していく。
市民	10年前に比べても自転車に乗っている人のモラルが低下しているように思う。親子連れで停めるところがなくて困ったなあという人がいたが、最近では平気で駅前に放置している。
市長	地域地域で皆さんがキャンペーンに取り組んでいただいたりとてもありがたい。取締りをやっているとだめなんですけど、そもそも、一人ひとりがマナー・モラルを守っていただければ…先日参加したフォーラムで、母子手帳を渡すときに、自転車マナーについてのPRと一緒に渡す自治体もあると聞いたので、いいアイデアだと思った。
市民	兵庫県の取り組みで一番大きかったのは、自転車保険加入の義務化、これは素晴らしい。阪急武庫之荘駅南側やJR立花駅周辺はかなり不法駐輪がなくなったが、半面バリエードがあり見栄えが悪い。駐輪場が少し遠いのも問題か…（家から駅まで10分ぐらいの人の利用が多い。）歩道は歩行者と自転車の共用で通るところなのに、自転車がベルを鳴らしながら、そのけと言わんばかりに走行するのは危ない。例えば、警察が実施する講習会を受講すれば、危険な状況を映画でみせてもらうなど大変勉強になる。
市長	ルールだからじゃなく、私達の安全のためにルールがある。だから、何のためにルールを守らないといけないのかを伝えていかないとだめ。また、歩道は歩行者優先で、自転車は自動車・車だという認識が低すぎるので、これを意識付けることが大事。
市民	駅の近くに土地がないなら、園田みたいに上にあげるか、JR尼崎みたいに地下を掘ればいい。
市民	地下を掘るとか駅を高架にするには、かかるお金のケタが違いすぎる。
市民	中学校のPTA役員をしているが、若い世代のお母さん方の中にはマナーの悪い人もいる。歩行者優先や自転車は車道を走る。子供たちは学校（小中高）で教えてもらっているのに、家に帰れば、お母さんの言うことを聞くために右側通行をしたりする。こういうことをやってはいけないとか言うより、「尼崎に住めばこういう風に暮らせるよ。」「ルールを守るとかっいいい。」と褒める方法がいいのではないかと。また、立花商店街の店の前に自転車が多く停めてあり、人が多いので通行の邪魔になる。
市民	ちょっとした買い物のときに停める場所がなく、つい店の前に停めてしまう。鉄道会社であれば駅の設置時に駐輪場の設置が義務付けられていたと思うが、小規模な店には…また、市役所の駐輪場が少ないので、増やしてほしい。
市長	大規模な商業施設は駐車場も駐輪場も設置義務があり管理されている。ところが小規模な商店街やお店は、確かにまだまだ課題が多い。お店の方とタッグを組んで解決しないと「商売の邪魔す

	<p>るのか」と怒る人もいる。人が集積する場所では周辺に駐輪場を作って「こちらに停めてください」とアナウンスするなり誘導すべきで、店の人に発想の転換をしてもらう必要があると考える。</p>
市民	<p>啓発のうえでも自転車保険条例制度はいいが、義務化であって法的には権限のないものである。保険の加入者は年寄りばかりで、被害者になっても加害者にはなりにくいから、実効性がない。加害者になるのは若い人だと思うので、もっと教育に力を入れるべきではないか。</p>
市長	<p>私達も条例にすべきかどうか。保険に入っていない人を取締まるのにどれだけの人員とコストを割くのか。啓発の意味も含めて条例で義務規定を置くことを基本にしたい。</p>
市民	<p>確かに放置自転車はひどい。取締りとか規制の重要性、何のための法律か、罰則とか取締りだけでなくもっと根本的なこと。法律は何のためにあるのかを考えないと。そもそも警察は何をしているのか？単車で一時停止を守らなければ罰則と罰金が取られるが、自転車については取締まっていない。実績を作るべきではないか。一つの提案として、身の周りにある法律やルールを、市民に分かりやすく知らせるべきではないか。ルール自体を知らない人も多いので、市報で掲載するなどして・・・</p>
市長	<p>予防の取組み、プラス表現と取締りの強化、双方のベストミックスを目指せばいいですね。市内ではひったくりが多かったので、取締りの強化とともにマナーを守って自転車に乗っている人にナイスカード（褒めるカード）を渡すなどの取組みもしている。市と警察との連携としては、データの共有やキャンペーンの実施など 自転車のハンドブックもあるが、結構分厚くて全員に配るというのは難しいし、まず読んでもらえない。学校には1冊備え付けて何か疑問があれば辞書のように引いてほしい。もっと絞り込んで、「最低これだけは守らないと迷惑がかかるよね」というパンフレットの的なものが必要だと思う。</p>
市長	<p>市報あまがさきの特集にしてほしいということだが、掲載取組みには限度がある。今までも不法駐輪対策について何度か掲載しているが毎号というのは難しい。先日の市報に100周年の特別チラシが挟み込まれていたが、少しコンパクトなパンフレットを作れば市報に挟み込むのも一案。この問題は優先順位が高いと思っているので取組んでいきたい。警察の取組みも交通安全週間のときに取締まるだけでなく、尼崎市では、「自転車の鍵をかける」「キープレフト（左側通行）」を含めて問題となっていることを絞り込んで、例えば「スマホを操作しながら乗る」人を取締まるとか連携して取組みたいと思う。</p>
市民	<p>罰則規定のない条例では意味がない。一度罰則をしてはどうかと思う。市報に掲載する時も、「これは△△条例第〇条に規定されており」と具体的に説明を入れるべき。</p>
市長	<p>以前、無灯火での重点的取組みを実施し、効果があったと聞く。戦略的に取締まるべき。</p>
市民	<p>警察の一斉取締り、パトカーでの巡回は聞こえにくいし、交番に立っている人も少ない。</p>
市民	<p>取締りの成果がPRできていないが、無灯火で走っている親子が捕まって注意されていたのを見た。高校生の二人乗りも先生に校門で叱られ、1か月自転車通学禁止されていた。</p>
市民	<p>警察も朝夕大きな交差点や踏切で取締まりをしている。いきなり、注意ではなく罰金取られるのも… まずはイエローカードで注意喚起、二度目はレッドカード とすれば・・・</p>
市民	<p>市報の表紙に自転車のルールなどを載せてもいいのではないかと。右側通行も多い。学校の先生や生徒に理解してほしい、分かってほしい。特に若い親への躰…</p>
市民	<p>課題ばかりでなく、「自転車の魅力」を発信するようなことを考えてほしい。市内で自転車を走らせれば楽しくなる。など・・・</p>

市長	7月23日(土)午後 記念公園で自転車に関する大きなイベントをする予定。ひとつはルールを含めてフォーラムを実施、また、自転車メーカーの方々とジョイントして自転車の魅力についての体験などを考えている。
市民	今年12月15日にロータリー祭りを計画しており、その中でも自転車を取り上げてキャンペーンをしてもいいんじゃないかと思う。
市長	戦略を練ってパンフレットや市報を活用し、警察の取締まりも継続してもらって、と今年のプロジェクトチームもエンジンをかけてやっていく。
市民	尼崎の住民に横着者が多いというか、言い方変えればガラが悪いというかが気になる。
市民	それは家庭教育、お母さん自身のモラルと思う。 小中学校では自転車教室や交通安全協教室で教えてもらっているのに、子供は家庭と切り離してしまってる。学校で言われたことは分かっているが、お母さんのまねをする。 高校では、自転車保険に入らないと鑑札がもらえず自転車通学できないし合羽を着ないとだめ。 何かお母さんたちに意識改革できることを発信したいし、若い世代に「守らないと！」ということを発信してもらいたい。
市長	特効薬があるテーマではないが、以前「マナーについて」のテーマで実施した時も条例管理が有効なのかという疑問は出た。条例作っても罰則規定がない、自転車のマナー、公園の使い方マナーなども・・・ただ、罰則規定がなくても条例なり具体的な仕掛けが打ち出されると地域の中で声をかけやすくなり、きっかけができる。 今日もいろいろなノウハウをいただきました。お子さんがおられるときに声掛けするとか、独り言のように話す、ジェスチャーで示すなど。 私達もポスターの掲示や広報、仕掛けづくりをしていかないと、と思う。
市長	本日は有意義な意見をたくさんいただきありがとうございました。直ちには無理でしょうが、これらの意見を踏まえた取組みに今後つなげていきたいと思う。 今日は本当にありがとうございました。

《添付資料》

- ・平成28年度施政方針
- ・「ひと咲き まち咲き あまがさき」に向けた人口ビジョン・尼崎版総合戦略
- ・本日のテーマ「自転車を 都市課題から 都市魅力へ」

以 上